

広島県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画研修生 平成31（2019）年度派遣者募集要項

2018年11月

1 趣旨

外務省が行う「第47期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」に、グアナフアト州と友好提携を結んでいる広島県を代表して参加する研修生を募集する。

2 募集人数

1～2名（下記全てのコースを合わせた人数）
※広島県から推薦できる人数で、最終合格人数ではない。

3 派遣予定期間

平成31（2019）年8月中旬～平成32（2020）年7月下旬

4 募集コース

(1) スペイン語・メキシコ文化コース

- ① 特定の分野について専門性を有する者（大学生、大学院生、実務家、研究者等）が、自らの研究活動、実務に役立つ観点から、スペイン語の習得を中心とした研修を行う。メキシコにおけるスペイン語能力判定試験において、一定の成績を修める者（注1）については、年度の後半は、大学等にて専門分野の授業の履修等を行うことが出来る。
（注1）メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）の中級（Intermedio2）修了レベル相当
- ② 渡航までに基礎的スペイン語の習得に努めることが求められる。
- ③ 研修生は、メキシコ到着後に国家科学技術審議会（CONACYT）によるオリエンテーションを受ける予定。
- ④ 研修期間中、全ての研修生は、メキシコ政府実施機関であるCONACYTに対し、定期的（4ヶ月毎）に研修活動報告書を提出し、各受講コースにおいて良好な成績を修めることが求められる。成績が悪い場合には奨学金の停止もあり得るので注意すること。奨学金の停止は、CEPEのスペイン語の授業において7.0（C）を下回る成績を取った際に、CONACYTにより決定される。
- ⑤ 研修に関する詳細（奨学生の義務など）については、「誓約書」（過去の例）を参照すること。

(2) 専門コース

- ① メキシコの大学、又は、大学院等の研究機関において、文系、理系の専門分野の授業を履修する。大学等における専門分野の授業受講に必要なスペイン語能力（注1）が求められる。
（注1）メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）の中級（Intermedio2）修了レベル以上
- ② 大学等における専攻・研究分野：文系、理系のあらゆる分野：大学等における授業の履修にあたっては、両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に資する分野を

専攻することが奨励される。

【参考】

21世紀における戦略的グローバル・パートナーシップ及び経済成長促進に関する日本・メキシコ
共同声明（2010年2月発表）http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/visit/1002_ks.html

- ③ 大学院等の研修機関で研修を行う場合、各自にて希望研修先の指導教官からの受入同意を得たうえで受入許可書を入手し、広島県国際課まで提出する必要がある。
- ④ 研修生の受入大学等については、メキシコ政府実施機関である国家科学技術審議会（CONACYT）が各研修生の希望分野や語学力を考慮して最終的に決定する。
- ⑤ メキシコ到着後、メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）にて実施されるスペイン語能力判定試験を受ける必要がある。同試験において一定のレベル（注1）に達していないと判定される場合は、研修当初、同大学のスペイン語コースにて語学研修を行う。
- ⑥ CONACYTが受入れ可能な研修先一覧は別添「受け入れ可能な研修先リスト（第47期）」のとおり。或いは、以下のCONACYTのサイトからも検索可能。
原則としてグアナフアト州にある機関から研修先を選択すること。
<http://svrtmp.main.conacyt.mx/ConsultasPNPC/inicio.php>
- ⑦ 研修生は、メキシコ到着後にCONACYTによるオリエンテーションを受ける予定。
- ⑧ 研修期間中、全ての研修生は、CONACYTに対し、定期的（4ヶ月毎）に研修活動報告書を提出し、各受講コースにおいて良好な成績を修めることが求められる。成績が悪い場合には奨学金の停止もあり得るので注意すること。奨学金の停止は、CEPEのスペイン語の授業において7.0（C）を下回る成績を取った際に、CONACYTにより決定される。
- ⑨ 研修に関する詳細（奨学生の義務など）については、「誓約書」（過去の例）を参照すること。
- ⑩ メキシコの大学院において正規の修士課程コースの履修を希望する者については、本プログラムでメキシコに滞在中に、一定の語学力（注1）を習得し、かつ受入機関（大学院、研究機関等）から正規修士課程への受入れ許可及びCONACYTによる許可が得られれば、引き続きCONACYTから奨学金を得て、修士課程コースを履修することができる（この場合、CONACYTの修士課程奨学金プログラムに申請する必要がある。なお、帰国のための航空賃は自己負担）。

【参考】

CONACYT修士課程奨学金プログラム（El Programa Nacional de Posgrados de Calidad (PNPC)）
<http://svrtmp.main.conacyt.mx/ConsultasPNPC/inicio.php>

5 インターンシップ制度

上記コースの受講者のうち、下記の要件を満たす希望者は、メキシコの公的機関、研究機関、企業等において、一定期間（1ヶ月～6ヶ月程度）のインターンシップの実施を認められる。

- (1) 一定のスペイン語力を有すること（上記各コース①（注1）を参照）
- (2) インターン先での明確な研修計画を有していること
- (3) 受入機関からの受入証明書を自ら取得すること
- (4) 上記条件を満たした上で、CONACYTの許可を得ること

6 メキシコ政府による給付内容（注2）

- (1) 滞在費：毎月、月額11026.08ペソを支給（第46期例）
- (2) 医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
- (3) 入学金・授業料：免除（半年間で約8,000ペソ相当）
- (4) 渡航費：東京ーメキシコ・シティー間の往復航空券を支給
- (5) 住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。

（注2）支給額他、待遇については毎年メキシコ政府による見直しの上改訂される。

7 応募資格

- (1) 広島県在住者または通勤通学する者で日本国籍を有する者
- (2) 心身ともに健康な者
- (3) 4年制大学（渡航時に大学3年生以上であること）又は大学院の在学者、卒業生、または学位取得者に準じた資格、十分な職務経験を有する者
- (4) 2019年4月1日現在で、次の年齢の者
 - ① スペイン語・メキシコ文化コース：20歳以上35歳未満
 - ② 専門コース：20歳以上40歳未満
- (5) メキシコに単身で渡航できる者
- (6) 次のスペイン語能力を有する者
 - ① スペイン語・メキシコ文化コース：基礎的なスペイン語力
（スペイン語・メキシコ文化コースにおいても、現地の講義はスペイン語で実施するため）
 - ② 専門コース：大学等における専門分野の授業受講に必要なスペイン語能力

※ 過去に本計画（日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 長期コース（旧称：日墨交流計画））に参加した者は、団体推薦枠または一般公募枠での参加の如何を問わず応募できない。

※ スペイン語・メキシコ文化コースと専門コースとの併願は認められない。

※ 外務省が直接募集する同事業（日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画）との併願は認められない。

8 応募書類及び応募締切等

- (1) 応募書類
別記「出願書類一覧」による。
※今年度より、所属先での選考実施及び選考結果の提出が必要です。
（学生は必須、学生以外は可能であれば所属先で選考を実施してもらって下さい。）
※【2. 推薦者(学校, 企業等)提出】の資料は、応募者本人ではなく、推薦者が直接広島県に提出して下さい。
（【1. 応募者本人提出】については、推薦者が【2. 推薦者(学校, 企業等)提出]とまとめて広島県に提出しても可）

- (2) 応募締切
平成31（2019）年1月7日（月）17時必着

- (3) 応募先
 広島県地域政策局国際課国際交流グループ
 (〒730-8511 広島市中区基町10-52) (広島県庁本館3階)

- (4) 応募方法
 簡易書留または持参

9 選考

- (1) 選考方法
 提出書類及び面接により、外務省に推薦する者を決定
- (2) 面接の方法
 応募者に対し、個人面接を行う。
- (3) 面接の時期
 平成31(2019)年1月17日(木)、1月18日(金)又は1月21日(月)
 ※日時・場所等の詳細は、募集締め切り後、各応募者あてに連絡する。

10 広島県からの推薦者に係る注意事項

- (1) 広島県から推薦された方は、さらに日本政府による選考の上メキシコ政府に推薦される。本県からの被推薦者が最終合格者ではない。
- (2) 誓約書への署名
- ① 広島県への誓約書への署名
 研修生は渡航前に自己責任の原則を定めた誓約書に署名するものとする。
 留学中のトラブル・事故等について、広島県は一切の責任を負わない。
 - ② CONACYTへの誓約書への署名
 広島県への誓約書のほか、別添のCONACYTへの誓約書に署名する必要がある。
 出願時に提出は不要であるが、研修に関する詳細(研修生の義務など)について、本誓約書(過去の例)を参照すること。
- (3) 研修の中止
広島県代表としてふさわしくない言動(※)が見られた場合は、CONACYTの研修中止の規定に満たない場合でも、研修の中止を本県から外務省へ申し出る。また、その場合は、奨学金、渡航経費等を研修生本人が全額返還することとする。
 (ふさわしくない言動)
 ・ 正当な理由なく、授業を長期間欠席した場合
 ・ 毎月広島県へ提出するレポート及び授業の出席状況の提出が、正当な理由なく1か月以上遅れた場合
 ・ 広島県、在メキシコ日本大使館、メキシコ広島県人会等からの連絡に、正当な理由なく応答しない場合
 ・ その他、広島県代表としての自覚が認められないような言動をとった場合
- (4) 海外旅行保険への加入
 研修生は、各自で海外旅行保険に加入し、写しを広島県に提出することとする。
 なお、海外旅行保険の費用は自己負担である。
- (5) 留学の準備について
 研修生として決定された方は、ビザの申請や現地情報の入手等は御自身の責任で行う。
- (6) 出願・選考・通知等の流れ(予定)

時期	内容
----	----

平成31年 1月7日(月)	応募締切
1月下旬	面接
1月24日(木)まで	県による被推薦者の決定
5月上旬	日本政府による合格者の決定
6月下旬	メキシコ政府による正式な受入決定

(7) グアナファト州での交流事業への参加及び研修報告等について

- ① 研修期間中に現地レポート及び授業の出席状況を1か月に1回、広島県に提出するとともに、研修終了時に研修終了報告書を提出することとする。
- ② また、研修期間中に、グアナファト州で実施予定の交流事業(4日間程度)に参加し、その参加報告書を提出することとする。
- ③ 提出していただく報告書は、氏名とともに、広島県のホームページへ掲載する予定である。
- ④ 研修生として決定された方には、広島県内で行われる国際交流事業への参加等、協力を依頼することがある。

11 渡航前説明会

2019年7月下旬～8月上旬ごろ、渡航及び研修にあたっての重要事項に関する、渡航前説明会を東京において開催する予定であり、合格した研修生は必ず参加することが求められる。

12 留意事項

- (1) 本研修計画は、奨学生の自主的な参加が求められており、CONACYTや在メキシコ日本国大使館はあくまでも側面的な支援を行うという点を十分理解し、明確な目的意識を持って主体的に参加する必要があることに留意すること。
- (2) 本募集要項に記載されている諸要件(受入機関、派遣期間、待遇等)については、今後変更もあり得る。
- (3) 研修期間中の日本への帰国及びメキシコ国外渡航は原則として認められない。
- (4) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、各自で必ず事前に留学先の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集すること。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である「日本学生支援機構」のウェブサイトや海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全ホームページ」を活用すること。
- (5) 一定額(上記6参照)を超える範囲での学費、月額滞在費を超える範囲でのメキシコにおける諸雑費(国際通話料、国内旅行費など)、東京にて開催される渡航前説明会、在日メキシコ大使館におけるメキシコ査証申請・取得及び渡航当日の成田空港までの交通費等、上記6に明記されていない部分については自己負担となる点に留意すること。
- (6) 研修後、全ての研修生は在メキシコ日本大使館への研修報告書の提出が義務づけられる。

【参考】

メキシコ国家科学技術審議会(CONACYT) : <http://www.conacyt.gob.mx>

独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援サイト : <http://ryugaku.jasso.go.jp/>

海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp/>